

第3回 出雲市スポーツ振興審議会 議事録

1. 開催日時 平成30年12月18日(火)15:00～16:50

2. 開催場所 出雲市役所3階 庁議室

3. 会議の出席者

(1) 委員(18名)

今岡一朗会長、安喰公美副会長、青木敏章委員、植田義久委員、大森正義委員
金築康治委員、久家 彰委員、高野正次委員、佐々木康文委員、佐野留美委員
永島弘明委員、野津修一委員、萬代輝正委員、矢田栄子委員
玉井孝幸臨時委員、福間正純臨時委員、山下一也臨時委員、和田嘉宥臨時委員
※欠席者1名(山根千恵美委員)

(2) 出雲市(7名)

永瀬市民文化部長、藤原市民文化部次長兼文化スポーツ課長
天野スポーツ特別事業室長、藤原課長補佐、山内課長補佐、藤井係長、福田主任

4. 次第

(1) 今岡会長あいさつ(要旨)

本日は、年末のお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

第2回審議会では、松江市総合体育館と島根県立浜山体育館を視察したが、新体育館の規模・機能を検討するうえにおいて、非常に参考になった。

本日は、市に寄せられた意見等も踏まえ、新体育館をどのようにすべきか、建設的な意見を頂戴したい。

市民説明会、市体協の競技団体説明会では、スポーツに限らず、避難所・コンベンション機能について、様々な意見が寄せられているが、新体育館は、廃止3体育館の合計面積以下を原則とするなど、基本計画には限度があり、費用的な面も含め、意見の全てを実現することはできないと考えている。

この審議会では、いろんな意見を出しつつも、最終的には新体育館では何を優先すべきかを前面に出して、責任をもった結論を審議会として出していきたいと考えている。委員の皆様には活発なご議論をお願いしたい。

(2) 議事(発言要旨)

①新体育館建設基本計画(素案)に対する主な意見の検討について 資料1

【説明：スポーツ特別事業室 天野室長】

【今岡会長】

・実施種目をどこまで想定するのか非常に難しいが、今回事務局からメインアリーナ・サブ

アリーナの種目毎のレイアウト図が使用例として示されたが、今後規模・機能の形が見えてきた段階で、あらためて実施種目を具体的に検討したい。

- ・アリーナの広さ、高さについては、実際に競技をしてみて感じる事、また先日の2体育館を視察して参考にすべき点など、様々なご意見があると思う。高さについては、バレーボールの公式試合ができるかどうか、アリーナの広さについてはこうあってほしいなど、考えを聞かせてほしい。

【高野委員】

- ・アリーナの広さを議論する前に、駐車場の大きさとか、消防団の大会利用、ボルダリングを取り入れてほしいなど、様々な意見が出ている。まずは、アリーナ以外で何が必要なのか整理していくと、アリーナの規模・大きさが決まってくるのではないかと。

【永島委員】

- ・メインアリーナについては、松江市総合体育館並みの広さがあるといいと思う。
- ・多用途使用について、松江市の場合、武道館、プール、くにびきメッセがあり、建物の役割が明確になっている。一方、出雲市民会館や出雲ドームは、コンベンション機能を有しているが、規模や機能的な面において、中途半端である。
- ・新体育館にコンベンション機能を集約させようとしているが、市民会館や出雲ドームと、新体育館が連携して、どこでどういう機能をもたせ役割分担させるのか、市全体のことを考えてすすめるべきではないか。

【野津委員】

- ・高さについては、バレーボールの公式大会を想定したほうがよい。

【萬代委員】

- ・壁の強度・防球ネットも重要だと思う。特にフットサル利用で、壁が壊れ、使用中止となった体育館もある。

【矢田委員】

- ・公式ルールに対応する面と、市民利用・生涯スポーツに対応する面を両立した広さが必要ではないか。

【和田委員】

- ・実施種目は絞ったほうがいい。
- ・公共交通機関として、川跡駅の活用も十分考慮する必要がある。
- ・景観審議会委員の立場として確認したいが、建設予定地へ体育館をつくるにあたり、ある程度競技種目とかをイメージして体育館を選定したのか。

【山下委員】

- ・景観にマッチしたシンプルな建物とし、障がいのある方にも使い勝手がいい体育館にしてほしい。

【福間委員】

- ・公式ルールに準じた広さであればいいと思う。
- ・「競技中心」のアリーナを造るのであれば、コンベンション機能は、必然的に入るだけのものしか受入れはできないと思う。
- ・音響について、残響音があまり発生しない材質・デザインとしてほしい。

【玉井委員】

- ・実施種目が増えれば、自ずと収納倉庫が大きくなるので、将来の事を見据え、多少余裕をもたせた方がいい。

【金築委員】

- ・多用途使用については、市内の既存施設と新体育館との住み分けが必要。
- ・県立大学との連携は、避難所機能として強みなので、有効利用してほしい。

【大森委員】

- ・体育館機能をメインにするならば、公式コートの広さを最優先にして考えてほしいが、もし面積の制限で難しいならば、仕方がない。

【青木委員】

- ・収益性と稼働率の高い体育館にしなければならない。
- ・競技人口が増えているのはフィットネス系である。市民が日々使いやすく、子ども・親子・高齢者が使いやすいものにしてほしい。
- ・メインアリーナの広さは素案でよいと思うが、サブアリーナはバスケット2面がとれる広さがあれば、個人・団体の利用が増え、稼働率が上がると思う。

【久家委員】

- ・体育館機能を最優先にしてほしい。

【今岡会長】

- ・市が示す延べ床面積(9,500㎡以下)について、もし異論がないならば、このまま事務局において、レイアウト等の調整作業をすすめていくので、もし異論があればこの場で発言して頂きたい。

【高野委員】

- ・完成後のランニングコストについても考慮すべき。
- ・付帯施設(会議室・トレーニングルームなど)もたくさん造れば、それだけエアコン等設備の更新といった様々なコストが後々に発生すると思うので、できるだけ負担を少なくする点も大事にすべきではないか。

【佐々木委員】

- ・広さについて特に異論はないが、特別支援学校の生徒も利用したいので、多目的室などは、ある程度間仕切りで部屋数が確保されるとよい。

【佐野委員】

- ・メインアリーナは、公式ルールで利用できる広さを確保してほしい。
- ・市内で公式大会が開催できるのは、浜山体育館しかないので、浜山体育館と新体育館が連携して大規模大会が開催できる、出雲市のシンボルとなる体育館を整備してほしい。
- ・サブアリーナは、市民にとって使いやすいものにしてほしい。
- ・多目的室は、近年フィットネス人口が増えているため、鏡張りの部屋にするなど、市民利用の目線で整備してほしい。

【永島委員】

- ・柔道について、畳をその都度敷くのは現実的には難しいが、中学・高校で競技が行わ

れ、大会も開催しているため、慎重に対応を考えたほうがいい。

【野津委員】

- ・サブアリーナについて、広さは問題ないと思うが、半面利用(バドミントンだと2コート)した場合、残り半面で何ができるのか。利用パターンを予め考えてみては。

【矢田委員】

- ・メイン・サブともに大会利用として使いやすい広さ・設備が必要である一方で、サークル等で市民が利用する場合は、そんなに広くなくていいので分割利用を望まれる。
- ・市内の既存体育館をフル活用し、例えば「A 体育館ではバドミントンに対応」といった既存体育館毎で特色ある体育館にしていくのもいいのでは。

【青木委員】

- ・サブアリーナは、松江市総合体育館のサブアリーナと同程度(1,394㎡)の広さがほしい。例えばバスケットの場合、サブアリーナでも2面とれる広さとすれば、稼働率が上がると思う。

【植田委員】

- ・メインアリーナの広さは素案でいいと思うが、サブアリーナについては、もう少し広いほうがいい。

【大森委員】

- ・現在廃止3体育館を利用されている方々に不便がでないよう、配慮すべきである。
- ・試合よりも、練習・体力づくりで使っている方が多いので、サブアリーナが分割利用できれば、たくさんの団体が利用できると思う。

【金築委員】

- ・新体育館は、市民利用に重点を置くならば、広さはこれでいいのかもしれない。しかし大会を誘致したいのであれば、この広さでは厳しいと思う。

【玉井委員】

- ・体育館機能を最優先とする意見には賛成だが、時代背景として避難所としての利用は必要不可欠なので、ある程度避難所機能は想定すべきである。
- ・収益性はとても大事だが、市民利用収入で建設費用を捻出するのは厳しい。
- ・建設する費用は公費で支出する一方で、維持管理の費用は利用料金で賄い、積み立てして10年に1度の改修費用として捻出する手法が、現実的に可能なのか疑問。
- ・市民への公益性を考え、市がある程度資金を投入しないと、受益者負担だけで設備を更新するのは難しい。
- ・収納倉庫について、十分に広さを確保したつもりでも、使っているうちに満杯になることが多いため、利用される方から直接意見を聞きながら検討したほうがよい。

【福間委員】

- ・基本コンセプトの中にある、「多用途使用」と「人と環境にやさしい」が取り込まれた形になればいいと思う。
- ・コンベンションについては、いろいろな機材の搬出入できる点も考慮してほしい。

【山下委員】

- ・多目的室について、スポーツする人以外でも、市民の方が普段から利用できるようにす

るため、大学と市が共催で「介護予防教室」を新体育館で開催したいと思っている。

- ・現在行われている介護予防教室は、各地へ出かけるのが主流だが、大学では介護予防に関する様々なメニューをもっているので、常に市民が新体育館に集まる仕掛けづくりを考えていきたい。

【和田委員】

- ・アリーナの使い方を決め付けると使い勝手が悪くなる。柔軟に使うことができる配置を考えてみてはどうか。

【安喰副会長】

- ・先日、市長が「スポーツの視点だけではなく、健康福祉についても考えないといけない」と話していた。市民体育館として、市民全員がスポーツをして健康維持を図ることだけでなく、親子連れ、高齢者が集まる憩いの場についても基本計画にあっていると思う。
- ・サブアリーナについて、長四角の形になるが、レクリエーションの観点で、正方形に近いものにできないか。

【今岡会長】

- ・体育館の機能を尊重すべきとか、健康福祉の観点も大事であるなど、様々な意見がでたが、競技団体からは、サブアリーナにも観客席が必要との意見がでていいる。メインアリーナも含め、観客席の有無について、委員のみなさんの意見を伺いたい

【萬代委員】

- ・「スポーツをみる」は大きなポイントなので、座席を置くまではいかなくとも、サブアリーナにも観客スペースはあったほうがいい。

【青木委員】

- ・浜山体育館(サブアリーナ)では、四方の中で1カ所にしか観客スペースがない。一方で松江市総合体育館(サブアリーナ)では、座席はないが階段式のスペースが1カ所、立ち見スペースが2カ所あった。新体育館でも松江市総合体育館程度の観客スペースはあったほうがいい。

【今岡会長】

- ・サブアリーナにも観客スペースが必要との認識で一致したので、設置に向けて事務局は検討してほしい。

【玉井委員】

- ・安喰副会長から、「サブアリーナを正方形にできないか」との発言があったが、面積をできるだけ変えずにやろうとすると、テニスでは1面をやめる、あるいは空手の6面を4面に減らすなど、フロアの寸法や実施種目の見直しが必要となる。
- ・レクリエーションのイベントを開催する場合、どれ位の広さが必要なのか。

【安喰副会長】

- ・フォークダンスでは丸くなって踊るため、松江とカミアリーナを比べた場合、松江の方が正方形に近く、利用し易かった。
- ・ダンス利用としていくら面積がほしいというわけではなく、松江に近い形の方がよいと思って発言させて頂いた。

【野津委員】

- ・車椅子利用者は、アリーナの扉が開き戸だと出入りがしにくいいため、引き戸になるとよい。多目的室、大会役員室についても、引き戸にすると車椅子でも入りやすい。
- ・市の福祉条例では扉の幅が90cmあればよいとされているが、スポーツ用の車椅子は大きいため、扉の開放幅が1m位あると、車椅子利用者も使いやすくなる。

【萬代委員】

- ・キッズルームについて、他の体育館ではアリーナに面してガラス張りで設置されているところがあった。子どもたちと一緒に体育館にきて、保護者が競技している姿を見ることができるといい。

【萬代委員】

- ・会議室・大会役員室について、パーティションによる間仕切りにすれば、大会時は開放し、普段は会議室として利用できるのでは。

【青木委員】

- ・多目的室や会議室については、分割利用できる造りのほうが利用者也使いやすい。
- ・松江市総合体育館を視察した際、職員の方から「エントランスホールは、もう少し広くすればよかった」と話された。大会時はエントランスホールにもたくさんの人が集まるため整備面積の制約があると思うが、ホールは広くしたほうが使い勝手はよい。

【矢田委員】

- ・松江市総合体育館では1階にアップスペースがあり、多少狭さは感じたが、大会時にはロビーが選手と観客で混雑するため、使い勝手はいいと感じた。

【萬代委員】

- ・放送室について、高機能の音響設備があっても、操作がわからず使えないと聞いたことがあるので、利用者が操作しやすい音響設備としてほしい。

【安喰副会長】

- ・市外の体育館で行われたダンスの大会に参加したが、ミキサーをフロアに出して、音質を調整していた。また、天井と側壁から音がでていたので、とてもいい音響だった。
- ・音響設備を良くすれば、それだけ建設費用が増えると思うが、音の響きも重要なので音も考慮してほしい。

【矢田委員】

- ・フットサルの場合、壁に強い衝撃があり破損することがあるため、プレーができる場所に限られるが、競技人口は多いので、ぜひ衝撃に耐えられる壁を整備してほしい。

【萬代委員】

- ・事務室には誰が滞在し、管理・運営を行うのか。
- ・現在、市体協の事務局は、NPO 法人スポーツ振興21の事務所に置いて活動されているが、市体協など、市内のスポーツ活動を支える競技団体の拠点とするならば、事務室の機能についても、考えていく必要がある。

【今岡会長】

- ・この基本計画における事務室の位置付けは、新体育館を管理・運営するために設けるものとしているため、萬代委員が発言された「事務室には誰が滞在し、管理・運営を行う

のか」については、次の段階で考えるべきことと考えている。

・次に、駐車場の台数や駐輪場、緑地・憩いの広場について、意見を伺いたい。

【野津委員】

- ・松江市総合体育館では、身体障がい者用の駐車場は、一般駐車場とは区別して体育館の入口近くに9台確保されていた。
- ・車椅子利用者が雨に濡れずに移動できるよう、上屋も設置しているので、ぜひ参考にしてほしい。

【和田委員】

- ・県立大学の駐車場は共用できるのか。もし共用できるのであれば、台数は多くなくてもよいのでは。
- ・松江市総合体育館では、公園・緑地スペースを多くとっており、家族連れで利用されていることから、緑地は多めがよい。

【事務局：永瀬部長】

- ・市としては、県立大学の駐車場を活用したいと考えているが、当然のごとく市が常時使用するものとして、駐車台数を決めることはできない。
- ・あくまで多数の来場者が見込まれる際、県立大学の駐車場が空いている時には活用したいと考えている。

【玉井委員】

- ・安来市民会館では、ヒートアイランド現象を抑えるため、気温が上がりにくい舗装を取り入れているので、参考にしてほしい。

【今岡会長】

- ・次に、避難所、コンベンション、その他についてだが、既に様々な意見が出ているが、他に追加したい意見があれば意見を出してほしい。
- ・特にコンベンション機能については、体育館機能を優先すべきとか、飲食はどうするのかなど、意見が分かれる部分だと思う。
- ・全体を通してでも構わないので、各委員からご意見を伺いたい。

【矢田委員】

- ・コンベンション機能については、これだけ広いフロアなので、用途を細かく決めると使いにくくなると思う。
- ・駐車場については、緑地があればベストだが、駐車場が不足することを想定し、緑地であっても駐車場として使えるなど、複合的に利用できるとよい。

【萬代委員】

- ・ネーミングライツについては、収入確保のため、ぜひ検討してほしい。
- ・設計の段階から、アリーナやロビーなどに看板広告のスペースを想定し、事業者にも支援して頂ける体育館としてほしい。

【野津委員】

- ・アリーナの広さを有効活用するため、イベント開催時はシートで保護すれば、いろんな用途で使用できるのではないかと。

【永島委員】

- ・最初の話しに戻るが、既存施設（市民会館・出雲ドームなど）と新体育館との住み分けについて、市全体の中で役割をはっきりさせないと、コンベンション機能は決められない。

【佐野委員】

- ・永島委員が話したとおり、役割分担がきちんとできればよい。

【高野委員】

- ・中体連主催の大会について、以前は県内の各自治体で持ち回りしていたが、近年は実施設が固定化し、陸上競技は浜山陸上競技場、柔道は松江と石見の武道館で隔年開催となっている。
- ・体育館についても、真夏の熱中症対策として冷房が効く施設に限定されている。
- ・あれもこれも新体育館でやるのは大変だと思う。
- ・浜山体育館で大会を開催する場合、同日で新体育館でも大会開催を認めるかなど、浜山体育館との住み分け・調整について、今後考えていかなければいけないと思う。

【久家委員】

- ・大会は年に数回しかない。市民が日常的に使いやすく、家族・地域で頻繁に利用できる体育館としてほしい。

【安喰副会長】

- ・スポーツのための体育館、市民のための体育館、そして利用しやすい体育館にしてほしい。
- ・後々ランニングコストがかかって維持ができないでは困る。運営面もしっかり考えてほしい。
- ・松江市総合体育館で可動ステージを見たが、ステージの上がり下りに高齢者が苦勞していた。せっかくステージがあっても、使えないようでは困る。
- ・高齢者にも配慮する視点も大事にして、使いやすいものを備えてほしい。

【青木委員】

- ・誰もが利用しやすい観点で、競技者メインではなく、市民が家族・親子・仲間遊ぶことができる体育館、雨の日に遊びにいける体育館を考えてほしい。
- ・女子トイレの数を増やしてほしい。

【植田委員】

- ・利用しやすい体育館にするため、様々な機能をつけていくと、逆に不便さを感じることもでてくると思う。
- ・バリアフリー、避難所機能など最低限の機能は大事にしつつも、規模・機能としてできないものは、はっきり示さないといけない。

【大森委員】

- ・現在廃止3体育館を利用している市民、競技団体が、引き続き利用ができるよう配慮してほしい。
- ・屋外でできる競技は外で行うべきで、屋内しかできない競技を想定して考えてほしい。

【金築委員】

- ・新体育館の建設に期待感をもっている反面、あれもこれも機能を持たせることで、体育館としての機能を損なうことがないようにしてほしい。

【玉井委員】

- ・体育館としての表の機能と、防災としての隠れた機能、この2つの機能を両立させることが大事である。
- ・緑地帯の植樹については、路面に草が付着しすべりやすくなるため、維持管理で清掃しないといけない。実施段階においては、よく吟味して行ってほしい。

【福間委員】

- ・試合結果や、コンベンションで外部発信をするため、無料Wi-fiを検討してほしい。

【山下委員】

- ・新体育館が県立大学に隣接して建設されるが、県立大学がどこにあるか市民にあまり知られていない。
- ・来年10月には、大学の図書館を市民に開放することが決定しているので、今後PR活動を積極的に行っていきたい。
- ・ブラジル人のための支援について、現在学生を中心に考えている。外国人の方にも体育館を利用してほしいので、大学として今からできることをはじめていきたい。
- ・現在大学では、LGBTに配慮したトイレの改修を行っている。ぜひ、新体育館でも設置を検討してほしい。

【和田委員】

- ・市民利用を中心にする、防災機能も備えるなど、体育館として性格づけをしておく必要がある。

【今岡会長】

- ・本日用意された議題は以上である。委員の皆様から様々なご意見を頂戴し、感謝申し上げます。今後のすすめ方については、事務局から説明をお願いする。

(3) その他

【事務局：天野室長】

- ・次回(第4回)の審議会については、年明けに日程調整を行い、後日ご案内をさせていただきます。

(4) 永瀬部長あいさつ(要旨)

本日は熱心にご議論をして頂き感謝申し上げます。次回の審議会では、本日頂いた意見や市民の声も踏まえ、整理しながら具体的な方向性をお示し、現在の「素案」を「案」の形にしていきたいと考えている。

今後、業者と調整しながら、具体的に目に見える形でパースも提示できると考えているが、場合によっては優先順位を検討する場面も出てくると思うので、引き続きご審議に協力をお願いする。本日はありがとうございました。